

令和6年度 事務事業評価表

9464
一般会計

事務事業名	道路維持修繕事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	まちづくり部	道路管理課	維持補修係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	道路法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和34年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費	(単位：千円)		
市が管理する道路施設 総延長 564km、橋梁91橋、舗装延長501km		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	957,005	1,071,620	1,431,105
	人件費	81,720	100,062	100,542
目 的	総事業費	1,038,725	1,171,682	1,531,647
舗装、橋梁などの道路施設の維持・修繕を効率的に進めることにより、健全性及び安全性を維持して円滑な交通を確保します。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
	国支出金	35,400		
	県支出金	0		
	市債	1,103,400		
	その他	3,619		
	一般財源	288,686		
手段、手法【実施手法：直営】	合 計	1,431,105		
・道路施設の点検結果に基づく計画的修繕に加え、市民からの通報、日常点検等により発見した不具合箇所について、補修、修繕、清掃等を行います。				
・実施に当たっては、軽微なものや応急対応は直営で行い、直営で対応できないものは業者に発注します。				

3. 活動内容

活動指標 1	名称	道路施設補修等の受付件数			単位	件
	内容説明	市民要望及び道路パトロール件数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	2,400	2,400	2,400	
	実 績	2,607	2,845	---		
活動指標 2	名称	道路施設の補修件数（直営以外）			単位	件
	内容説明	道路施設補修工事の発注件数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	110	110	110	
	実 績	92	117	---		
活動指標 3	名称	道路施設の補修件数（直営）			単位	件
	内容説明	直営により道路施設の補修等を行った件数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	1,200	1,200	1,200	
	実 績	1,267	1,282	---		
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
	実 績			---		
課 題	<p>・道路施設の老朽化に伴い、市民等からの補修要望が増加し、対応に時間を要する案件が増えています。要望内容によって優先順位を定め、計画的かつ効率的に処理していく必要があります。</p> <p>・近年、道路施設の管理瑕疵を問われる事案が全国的に増加傾向にあります。本市においても、より細やかな管理に努め、事故を未然に防いでいく必要があります。</p>					

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	橋梁、大型カルバート及び道路附属物の長寿命化修繕計画等の見直し並びに舗装の点検・調査を行いました。今後、計画に基づき道路施設の維持管理を進めます。また、策定した計画の見直しを随時行います。					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	4年度	5年度	6年度	A : 市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	道路法第16条により、市道の管理は市と定められています。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	4年度	5年度	6年度	B : 成果を上げる余地が一部ある。
	B	B	B	施設の定期的な点検及び補修計画の策定・見直しを行い、より効果的な維持修繕ができるよう努めています。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	4年度	5年度	6年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	国庫補助金等の活用、コスト削減に努めており、経費は適正な水準です。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	4年度	5年度	6年度	A : 受益・負担は適正である。
	A	A	A	道路法第49条により、道路に係る費用は管理者の負担と定められています。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	4年度	5年度	6年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	アダプト制度による市民の道路美化活動、工事等のお知らせ、段差解消によるバリアフリー対応、円滑な交通確保による環境負荷の軽減に取り組んでいます。

令和6年度 事務事業評価表

9441
一般会計

事務事業名	未登記道路整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	まちづくり部	道路管理課	管理・許認可係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	道路法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	平成05年度	令和06年度	32年	

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	0	0	0
	人件費	2,293	1,692	0
目 的	総事業費	2,293	1,692	0
市道の適正な財産管理を行います。		7年度事業費（予算額）財源内訳		
手段、手法【実施手法：直営・委託】 土地権利者の理解協力を得ながら、寄付等により道路用地の所有権移転を行います。		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		0
		合 計		0

3. 活動内容						
活動指標 1	名称	測量筆数			単位	筆
	内容説明	道路用地の測量				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	0	0	-	
		実 績	0	0	---	
成 果（効果・予測）	市が所有権を取得することにより、適正な財産管理がなされた市道供用となります。					
活動指標 2	名称	処理筆数			単位	筆
	内容説明	未登記道路用地の所有権移転筆数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	1	1	-	
		実 績	1	0	---	
活動指標 3	名称	処理面積			単位	m ²
	内容説明	未登記道路用地の所有権移転面積				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	10	10	-	
		実 績	31.17	0	---	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			---	
課 題	未登記道路は、供用後かなりの歳月がたっており、相続や所有権移転等に伴い、現土地所有者の理解を得ることが困難な状況も多々あり、交渉に時間を要しています。現在、71件の未登記道路が未処理となっています。					

4. 今後の方針等						
今後の方針等	4年度	Ⅰ：現状のまま継続		5年度	Ⅰ：現状のまま継続	
	令和7年度に道路台帳等管理事務事業に統合します。		6年度	Ⅲ：廃止または終了		

令和6年度 事務事業評価表

9460
一般会計

事務事業名	道路台帳等管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	まちづくり部	道路管理課	管理・許認可係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	道路法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	昭和34年度		設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	52,269	79,669	57,949
	人件費	6,587	7,459	12,297
目 的	総事業費	58,856	87,128	70,246
適切な道路及び法定外公共物の維持管理を図ります。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：委託】 ・開発行為や私道移管などにより引き継いだ市道路線の認定、廃止、変更に係る業務を行います。 ・各種台帳の作成及び修正事務を行います。 ・各測量業務により、亡失した境界点と基準点の復元、用地測量、分筆登記等を行います。 ・道路敷境界承認及び道路幅員証明に関する事務を行います。 ・市が管理すべき道路用地及び法定外公共物の適切な財産管理を行います。	国支出金	0		
	県支出金	0		
	市債	0		
	その他	11,191		
	一般財源	46,758		
	合 計	57,949		

3. 活動内容

活動指標 1	名称	道路台帳平面図等の修正面積			単位	㎡
	内容説明	年間道路台帳平面図等の修正面積				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	7,000	7,000	12,000	
実績	5,590	11,514	---			
活動指標 2	名称	道路境界杭等の埋石、復元本数			単位	本
	内容説明	年間道路境界杭等の埋石、復元本数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	600	600	600	
実績	611	568	---			
活動指標 3	名称	市道認定、廃止、変更路線数			単位	路線
	内容説明	年間市道認定、廃止、変更路線数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	80	70	70	
実績	64	62	---			
活動指標 4	名称	道路境界承認及び幅員証明数			単位	件
	内容説明	年間道路境界承認及び幅員証明数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	180	200	170	
実績	203	167	---			

4. 今後の方針等

今後の方針等	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	令和6年度に道路台帳の電子化を行ない、窓口での閲覧システムが稼働しました。今後は、このシステムに搭載できる紙データ（法定外公共物や、世界測地系の座標等）の電子化を行い、情報の集約化、閲覧システムの充実化を進めます。					

令和6年度 事務事業評価表

9461
一般会計

事務事業名	道路占用等の許認可事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	まちづくり部	道路管理課	管理・許認可係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	道路法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和34年度			設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	2,225	2,467	3,238
	人件費	15,884	17,656	15,920
目 的	総事業費	18,109	20,123	19,158
法令に基づく許認可事務や指導を行い、市が管理する道路、法定外公共物を適正に管理し、機能を保全・確保します。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：直営】 下記の各申請に基づき、申請者と協議・調整を行い、行為に対して許可・承認します。 ・道路占用者への許可・協議・承認事務 ・法定外公共物占用許可事務 ・道路交通法に関する警察との事前協議 ・道路占用料、監督事務費の賦課・徴収及び法定外公共物占用の賦課事務 ・行政財産の目的外使用調整及び賦課事務 ・特殊車両の通行許可・通行認定	国支出金	0		
	県支出金	0		
	市債	0		
	その他	3,238		
	一般財源	0		
	合 計	3,238		

3. 活動内容					
活動指標1	名称	占用申請処理件数		単位	件数
	内容説明	占用者からの申請書事務処理			
	指標値	予 定	5年度	6年度（当該年度）	7年度
		実 績	2,000	1,800	1,600
活動指標2	名称	貫入検査及び自費施工検査の件数		単位	件数
	内容説明	道路掘削部分の復旧、及び申請どおりの完成を確認する検査			
	指標値	予 定	5年度	6年度（当該年度）	7年度
		実 績	20	30	30
活動指標3	名称	警察への事前協議件数		単位	件数
	内容説明	工事に伴う通行の事前協議			
	指標値	予 定	5年度	6年度（当該年度）	7年度
		実 績	30	70	90
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値	予 定	5年度	6年度（当該年度）	7年度
		実 績			

4. 今後の方針等						
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	道路法に関する条例及び大和市法定外公共物管理条例に基づき、適正に事務を進め道路・法定外公共物の安全確保に努めてまいります。また、占用料の適正化を図るために、国や県及び近隣市町村の動向を注視していくとともに、適切な許認可業務を行ってまいります。					

令和6年度 事務事業評価表

9462
一般会計

事務事業名	不法占用の巡視及び撤去・改善・指導事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	まちづくり部	道路管理課	管理・許認可係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	道路法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和34年度			設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
市民		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）	
	事業費	2,220	2,150	2,372	
	人件費	13,018	15,291	13,811	
目 的	総事業費	15,238	17,441	16,183	
不法占用の巡視及び撤去を行い、市が管理する道路、法定外公共物を適正に管理し、機能を保全・確保します。	7年度事業費（予算額）財源内訳				
手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・巡視パトロールを行い、不法投棄物、放置車両、放置自動二輪車、捨て看板の撤去・法的処分を行います。 また、不法投棄を発見した時は、指導を行います。 ・突出看板の適正化を行います。 ・不法に掲出された屋外広告物の簡易除却を行います。	国支出金	0			
	県支出金	0			
	市債	0			
	その他	0			
	一般財源	2,372			
	合 計	2,372			
3. 活動内容					
活動指標 1	名称	放置車両の早期発見及び撤去処理		単位	台
	内容説明	廃物認定後の撤去処理件数			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	1	1	1
	実 績	0	1	---	
活動指標 2	名称	違法看板の是正指導・撤去処理		単位	枚
	内容説明	撤去処理件数			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	40	40	60
	実 績	52	56	---	
活動指標 3	名称	不法投棄の是正指導及び撤去処理		単位	件
	内容説明	撤去処理件数			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	300	250	200
	実 績	228	198	---	
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
	実 績			---	
課 題	恒常的に撤去・処分作業を実施していますが、繰り返し放置車両や看板等、様々な物が道路へ投棄されていることが課題です。 敷地内のゴミを隣接する道路に投棄する事例が多く見られます。また、不法に占有されている道路等を適切に指導・処理する手法が必要です。				

4. 今後の方針等				
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続
	引き続き巡視パトロールを行い、不法占有・不法投棄の減少に努めるとともに、警察や関係部署と協力して不法占有者に対して、不法占有物の移動撤去の指導を粘り強く行ってまいります。			
6年度				
I：現状のまま継続				

令和6年度 事務事業評価表

16907
一般会計

事務事業名	開発事業等に関する指導調整事務（道路）			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	まちづくり部	道路管理課	管理・許認可係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	都市計画法・建築基準法・道路法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象	総事業費 (単位：千円)					
市民		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）		
	事業費	0	0	0		
	人件費	3,888	4,614	5,757		
目 的	総事業費	3,888	4,614	5,757		
開発行為などについて法令やその基準規則に適合させ、地域の交通の利便性の向上を図ります。	7年度事業費（予算額）財源内訳					
手段、手法【実施手法：直営】 都市計画法及び大和市開発事業の方法及び基準に関する条例に基づき事業者と道路整備に関する協議を行い、利便性の高い道路整備を行うよう指導を行います。	国支出金	0				
	県支出金	0				
	市債	0				
	その他	0				
	一般財源	0				
	合 計	0				
3. 活動内容						
活動指標 1	名称	指導調整した件数			単位	件
	内容説明	目標値は新年度実数				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	57	55	45	
		実 績	55	45	---	
活動指標 2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			---	
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			---	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
		実 績			---	
課 題	開発事業の指導において、開発業者の事業のコスト面で制約があることから、企画段階における開発事業者との道路整備の十分な事前協議が必要です。					

4. 今後の方針等						
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	今後も条例に基づき適正な指導、助言を行い、道路環境の充実、地域生活環境の向上、行政サービスの向上に努めます。					

令和6年度 事務事業評価表

16908
一般会計

事務事業名	車両制限令に基づく許認可事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	まちづくり部	道路管理課	管理・許認可係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	道路法・道路交通法		
		車両制限令		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
		令和06年度		設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象	総事業費 (単位：千円)				
市民		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）	
	事業費	0	0	0	
	人件費	7,886	8,075	0	
目 的	総事業費	7,886	8,075	0	
車両制限令に関わる車両と一般の車両の安全な運行を図ることにより、道路構造物の保全を行います。	7年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0	
手段、手法【実施手法：直営】 ・特殊車両の通行許可申請を受け、道路幅員・道路橋等を審査し、許可若しくは不許可の回答を行います。 ・道路情報便覧システムに特殊車両が通行可能な道路を収録します。		県支出金		0	
		市債		0	
		その他		0	
		一般財源		0	
		合 計		0	
3. 活動内容					
活動指標 1	名称	特殊車両通行許可協議処理件数		単位	件数
	内容説明	特殊車両通行許可協議の回答処理			
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定	400	400	-
		実 績	582	411	---
活動指標 2	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			---
活動指標 3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			---
活動指標 4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
		予 定			
		実 績			---
課 題	道路情報便覧システムの収録道路を増やし、特殊車両の申請者の利便性を高めるため、システムの収録を進める必要があります。				

4. 今後の方針等				
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続
	6年度	III：廃止または終了		
令和7年度に道路占用等の許認可事務事業に統合します。				

令和6年度 事務事業評価表

20213
一般会計

事務事業名	都市再生街区基本調査成果管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	まちづくり部	道路管理課	管理・許認可係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	国土調査法、測量法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
		令和06年度		設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	0	0	0
	人件費	1,710	2,384	0
目 的	総事業費	1,710	2,384	0
都市再生街区基本調査で設置された公共基準点の管理、保全を図ります。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：直営】 大和市公共基準点管理保全要領に基づき都市再生街区基本調査で設置された公共基準点の管理をします。		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		0
		合 計		0

3. 活動内容						
活動指標 1	名称	公共基準点付近での工事施工届出書			単位	件
	内容説明	年間公共基準点付近での工事施工届出書				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	20	20	-	
	実 績	19	29	---		
活動指標 2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
	実 績			---		
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
	実 績			---		
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
	実 績			---		
課 題	報告されていない工事等によって、亡失された基準点を把握し復元することが困難です。					

4. 今後の方針等						
今後の方針等	4年度	Ⅰ：現状のまま継続		5年度	Ⅰ：現状のまま継続	
					6年度	Ⅲ：廃止または終了
令和7年度に道路台帳等管理事務事業に統合します。						

令和6年度 事務事業評価表

30086
一般会計

事務事業名	地籍調査事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	まちづくり部	道路管理課	管理・許認可係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	国土調査法		
		測量法		
		不動産登記法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
			設定無し	

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	7,421	5,102	9,236
	人件費	3,976	4,999	8,075
目 的	総事業費	11,397	10,101	17,311
国土調査法に基づき、地籍の明確化を図ります。		7年度事業費（予算額）財源内訳		
手段、手法【実施手法：直営・委託】 一筆ごとの地籍調査に向け、道路台帳を基に公道との官民境界の立会を実施します。また、この街区境界調査を計画的に行います。		国支出金	0	
		県支出金	5,049	
		市債	0	
		その他	0	
		一般財源	4,187	
		合 計	9,236	

3. 活動内容						
活動指標 1	名称	地籍調査の面積			単位	k m ²
	内容説明	年間地籍調査の面積				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	0.04	0.02	0.02	
	実 績	0.04	0.02	---		
成 果（効果・予測）	<ul style="list-style-type: none"> 一筆ごとの地籍調査時の基礎資料となります。 地籍調査が行われると、土地に関する情報が整理され、行政事務の基礎資料としての活用や個人資産の保全につながります。 					
活動指標 2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
	実 績			---		
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
	実 績			---		
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
	実 績			---		
課 題	<ul style="list-style-type: none"> 一筆ごとの地籍調査に向けた街区境界調査を計画的に実施する必要があります。 公共基準点や道路境界点の管理保全に努める必要があります。 					

4. 今後の方針等						
今後の方針等	4年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	令和6年度地籍調査等補助金についても、一部不交付であったことから事業進捗に更なる遅れが生じたため、年次計画を見直す必要があります。					

令和6年度 事務事業評価表

38122
一般会計

事務事業名	道路ストック修繕計画策定事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	まちづくり部	道路管理課	維持補修係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称	道路法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
	平成28年度			設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象	総事業費 (単位：千円)					
市民		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）		
	事業費	54,661	47,354	7,075		
	人件費	10,890	14,611	10,766		
目 的	総事業費	65,551	61,965	17,841		
効率的な道路管理を行うため、道路ストック修繕計画を策定します。	7年度事業費（予算額）財源内訳					
手段、手法【実施手法：直営】 ・道路法に関する省令に基づき、道路施設の定期点検を行います。 ・点検結果を基に、各道路施設について、修繕計画を策定します。 ・PDCAサイクルに沿って、計画を運用します。		国支出金	100			
		県支出金	0			
		市債	0			
		その他	0			
		一般財源	6,975			
		合 計	7,075			
3. 活動内容						
成 果（効果・予測） 持続可能な維持管理体制を構築することにより、道路ストックの安全性、快適性を恒久的に維持することができます。	活動指標 1	名称	橋梁点検数		単位	橋
		内容説明	道路法施行規則に基づく近接目視点検実施橋梁数			
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
			予 定	65	0	0
			実 績	65	0	---
課 題 点検計画に沿って効率的に定期点検を進めるため、関係機関との事前協議を密接に行っていく必要があります。	活動指標 2	名称	道路構造物点検数		単位	箇所
		内容説明	道路法施行規則に基づく点検実施施設数（その他施設）			
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
			予 定	676	0	0
			実 績	676	0	---
	活動指標 3	名称			単位	
		内容説明				
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
			予 定			
			実 績			---
	活動指標 4	名称			単位	
		内容説明				
		指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度
			予 定			
			実 績			---

4. 今後の方針等						
今後の方針等	4年度	I：現状のまま継続	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続
	法令に基づき5年に一度点検を実施し、道路施設を効率的に修繕できるよう計画を策定します。PDCAサイクルに沿って計画を運用し、適切な維持管理を行います。					

令和6年度 事務事業評価表

38325
一般会計

事務事業名	道路施設等固定資産台帳整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	まちづくり部	道路管理課	管理・許認可係	飯田 康夫

1. 位置づけ・事務事業の期間				
総合計画体系	基本目標	まちの健康・環境にも人にも優しい快適な都市空間が整うまち		
	個別目標	快適な都市の基盤を充実する		
	めざす成果	道路や公園を快適に利用している		
根拠法令	名 称			
	当該事業の法令等による義務付けの有無 無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度		事業期間
		令和06年度		設定無し

2. 事務事業の概要				
対 象	総事業費 (単位：千円)			
市民		5年度（決算額）	6年度（決算額）	7年度（予算額）
	事業費	0	0	0
	人件費	133	77	0
目 的	総事業費	133	77	0
道路施設等の適切な財産管理及び有効活用を図ります。	7年度事業費（予算額）財源内訳			
手段、手法【実施手法：直営】 大和市道を路線及び施設ごとに取得原価等を算出し減価償却を考慮した上で道路施設等の資産確定を行います。	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			0
	合 計			0

3. 活動内容						
活動指標 1	名称	道路施設等財産資産台帳更新			単位	km
	内容説明	道路施設等財産資産台帳更新延長				
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定	560	560	-	
	実 績	560	560	---		
成 果（効果・予測）	道路施設等の適切な財産管理及び有効活用が図られます。また、地方公会計に対応することができます。					
活動指標 2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
	実 績			---		
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
	実 績			---		
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		5年度	6年度（当該年度）	7年度	
		予 定				
	実 績			---		
課 題	「固定資産台帳」の基となる道路施設等財産台帳の作成及び運用方針を運用マニュアルにて定めており、次年度以降から道路施設等財産台帳の更新を確実に行っていく必要があります。					

4. 今後の方針等						
今後の方針等	4年度	Ⅰ：現状のまま継続		5年度	Ⅰ：現状のまま継続	
					6年度	Ⅲ：廃止または終了
令和7年度に道路台帳等管理事務事業に統合します。						